

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
1	北海道	しゃりちょうこうみんかんゆめほーるしれとこ 斜里町公民館ゆめホール知床	斜里町公民館ゆめホール知床は、「集い・学び・結ぶ」公民館として、生涯学習機会の提供と情報発信を積極的に進めるとともに、住民のニーズ及び地域課題、年齢領域別課題を把握し、その改善に努めている。 取組の推進に当たっては、「協働・町民参加・情報共有」の3つの原則を柱とした斜里町自治基本条例や第6次斜里町総合計画、生涯学習推進計画を踏まえた推進計画を年度ごとに作成し、評価、改善のサイクルを確立している。 特徴的な事業としては、多様な住民が関わる「町民手作りシアター」や小学生が運営者となって映画会を実施する「ゆめクラブ」、町内の青年で組織する「斜里ユースまちづくり委員会」での異業種交流会の実施等が挙げられ、町民の主体的な学習の場として機能しているとともに幅広い年代の町民が事業に参画する機会を提供し、「学びと活動の好循環」の構築が図られている。
2	北海道	うらほろちようよしのこうみんかん 浦幌町吉野公民館	浦幌町吉野公民館は、地域住民の憩いの場であった「吉野生活館」を前身とし、より社会教育の拠点としての機能を備えた施設が必要という住民間の議論を受け、昭和51年に開館した。開館当時から公民館主事を配置し、教育、学術及び文化の各種事業を展開している。また、専任公民館長を配置するとともに、民間企業と連携し、事業内容の精選及び検討を繰り返し、住民の学習活動を支援している。 特徴的な事業としては、「吉野公民館文化週間」が挙げられ、地域の文化活動振興の機会を増やすとともに、住民が主体的に地域づくりを考え、参画するための多様な講座を開設し、地区の地域住民のみならず近隣の住民も参加するなど、町民全体の生涯学習活動と地域づくりの拠点機能を担っている。
3	北海道	なかしべつちようそうごうぶんかいかい 中標津町総合文化会館	中標津町総合文化会館は、平成7年から、(財)中標津町文化体育振興協会(現(一財)中標津町文化スポーツ振興財団)が町から委託され管理運営している。同館では、高齢者の学習機会としての「中標津しらかば学園」や全世代を対象とした「しるべつと学園」など、住民のニーズに対応しながら様々な事業を展開している。 また、芸術鑑賞や各種講演会等の学習機会の充実や開催時間を工夫することにより、住民の参加促進を図っている。 さらに、町内2校の高等学校との連携を図り、共同開催の事業を展開するなど、未来を担う若者の情操教育の観点から、芸術に触れる機会を積極的に提供するなど、世代を問わず、町民全体の学習活動に幅広く貢献している。
4	青森県	はちのへしりつおおだてこうみんかん 八戸市立大館公民館	住民構成の変化や少子高齢化が進む中、地区活性化のために郷土の歴史を風化させず後代に伝えていくこと、その一環として新田城をシンボルとした住民手作りのまつり開催が企画された。当館は、まつり実行委員会の活動拠点であり、館長・主事が「まつり事務局」として平成17年度の第1回以来、地域の諸団体、学校、協力施設等との連絡・調整役を担う傍ら、住民参加の裾野を広げるべく、城にまつわる歴史講座やまつり行列の装束作りと着付け講座等の公民館講座を開設している。また、中学生のまち作り参画意識を啓発する事業も展開し、郷土の次代を担う人材育成に取り組んでいる。地区の生涯学習の場、さらに、コミュニティ再構築の要としての重責を担っている大館公民館は、他館の範たる優良公民館といえる。
5	岩手県	とおのしかみごうちくこうみんかん 遠野市上郷地区公民館	遠野市の東部に位置し、米、ホップ等の生産が盛んな自然豊かな地域である。古来より内陸地域と沿岸地域結ぶ要路として、物資の流通や人々の往来を支えてきた。近年、人口減少が進行している地域ではあるが、当該公民館においては、年間利用者数が対象人口の5倍を超えるなど、地域住民の学びの拠点として機能している。 小正月行事伝承事業をはじめとする、地域人材や地域財を活用した事業が数多く行われており、世代間交流に主眼を置き、地域住民が学んだことを次世代に継承しながら地域コミュニティづくりに取り組んでいる。 また、地域団体や地域住民の参画による事業運営や積極的な出前講座等により、生涯学習への関心を喚起しながら活動に結び付けるなど、地域の教育力の向上に寄与し、地域住民が主体的に地域課題を解決するために必要な学習を推進している。
6	岩手県	すみたちようりつしもありすちくこうみんかん 住田町立下有住地区公民館	住田町のほぼ中央部に位置し、清流気仙川が流れる地域である。地区内に4つの自治公民館が組織されており、連携・協働のもと事業を推進している。また、集落支援員を兼務した常勤の嘱託職員を配置し、地域づくり機能の拡充に取り組んでいる。 主な事業として、地域住民の交流活動を行う「小さな拠点づくり」や「よりあいカフェなるせ」といった地域課題の解決に向けた取組や、地域の特性を生かした「高齢者教室」「自主講座」など様々な学習機会を提供している。 東日本大震災津波発災以降、隣接地に仮設住宅団地が形成されると、被災者の相談対応や施設開放等の支援事業に取り組んだり、団地自治会組織の設立・運営に主体的に関わったりするなど、地域コミュニティ形成へ向けた役割を担ってきた。
7	岩手県	いちのせきしふじさわしみんせんたー 一関市藤沢市民センター	藤沢町は、一関市内の南部に位置し、北上山系に連なる山地と北上川に注ぐ川が流れる地域である。平成23年に一関市と合併したが、自分達の地域は自分達で創るという理念のもと、公民館も主体的に関わりながら地域のミニ計画を作成し、自治計画に反映させるといった住民自治の歴史がある。合併後は、コミュニティセンターとなるが、地区自治協議会が指定管理者となり、住民が地域課題について話し合う拠点となってきた。当該センターは、藤沢町住民自治協議会の拠点として様々な活動に取り組んできたが、「これまでの自治の在り方で、少子高齢化に対応できるのか」等の新たな地域課題に向き合い、その課題解決に向けた地域住民参画型の事業を推進している。 住民による地域づくりの拠点となり、地域課題の解決に向けた取組を継続的に行うなど、当該センターが、社会教育を基盤とした地域づくりに果たしている役割は大きい。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
8	宮城県	とめしよねやまこうみんかん 登米市米山公民館	登米市総合計画の「地域の自立」、「住民参加型の公民館」のもと、地域コミュニティ参画型の公民館運営がなされている。 特色ある事業には、他の公民館と合同で企画・運営する「豊里・米山交流事業『T・Y・C』」や「かかしっこクラブ」などが挙げられる。これらの事業は、地域住民のニーズにより、他の公民館や様々な団体と協働して開催し、内容、人材、費用等の充実を図りながら、世代間交流、地域間交流を促進させている。そのため、住民の参加率や満足度が高い。また、各種事業を通じ、地域コミュニティの活性化や地域人材の育成、地域の教育力の向上にも寄与している。 当該公民館は、「第3期教育振興基本計画」を踏まえた地域的課題の解決に向けた取組、また、公民館を核とした協働実践の模範的な取組が見られる優れた公民館である。
9	宮城県	しろいしさいかわこうみんかん 白石市斎川公民館	地域課題の解決や地域力の向上を図るねらいで、地域住民参画型の事業企画検討会「きり斎川笑アップ塾」を開催している。 特色ある事業には、「キッズオリンピック」や「斎川こころ柿づくり体験教室」等の自主事業を盛んに実践している。特に、「きり斎川笑アップ塾」で出された意見やアイデアを実際の事業運営に反映させるため、参加者の満足度がとても高い。また、事業終了後には事業アンケート等をもとに振り返りを行い、更に工夫・改善に努めている。 当該公民館は、PDCAサイクルを機能させながら、地域コミュニティの積極的な運営参画が見られる事例として、他の模範となる取組が見られる優れた公民館である。
10	秋田県	だいせんしりつよつやこうみんかん 大仙市立四ツ屋公民館	四ツ屋公民館は、生涯学習活動の拠点として昭和56年7月に設置され、利便性の高い施設を活用しながら、より一層地域に根差した生涯学習の場として、他地域の類する施設と比較しても多くの利用がある。 その中でも、とりわけ多年代にわたる地域全体を挙げた事業に特化しており、三世交代交流事業や、地域全体の「四ツ屋まつり」の開催など、組織や企業、学校など横断的に連携し、様々な工夫をしながら事業を継続している。
11	秋田県	にかほしにかほこうみんかん にかほ市仁賀保公民館	仁賀保公民館は、昭和49年に建築され、にかほ市における社会教育・生涯学習振興に努めてきた。住民のニーズを考慮した趣味講座や自主学習グループ、高齢者を対象とした講座等を、年間を通じて開催している。 特色ある事業として、「キッズユートリック」がある。放課後子ども教室・わくわく土曜教室として実施しており、小学生を対象に、地域の人材を生かした体験活動等を実施している。生涯学習奨励員やスポーツ推進員、地域の方々を講師に迎え、学年や学区を越えた交流及び体験活動が実施され、子どもたちの自主性や想像力、豊かな人間力、郷土愛の醸成等が図られている。
12	山形県	ながいしちほうこみゆにていせんたー 長井市致芳コミュニティセンター	長井市致芳コミュニティセンターは、指定管理を導入(当時は致芳地区公民館)し、現在4期目を迎えている。自主事業では生涯学習分野の事業に留まることなく、福祉や防災分野など幅広い事業を展開しており、住民主導による生涯学習の推進と地域づくり事業を活発に継続実施している。さらに、地区民が絆を深め「和と活力のまち致芳～つなごう東西 結ぼう絆拓こう未来～」をキャッチフレーズに、充実した生活を目指しながら自主自立を推進している。特に、ウォーキング事業の「一日八里」は、地域住民が主導して企画し、30年来続く致芳を代表する事業として地区外からの参加者も多い。近年では新たな事業にも精力的に挑戦しており、地域内の各種団体とコラボレーションした「地域の拠点」を意識した取り組みも展開している。 平成30年4月地区民の総意により将来を見据えコミュニティセンターに移行し、地域の拠点として地区を牽引し、更なる地域活性化が期待できる。
13	福島県	あいづわかまつしょうがいがくしゅうそうごうせんたー 会津若松市生涯学習総合センター	会津若松市生涯学習総合センターは、中央公民館と図書館機能を併設し、平成23年の開館以来年間55万人が利用する施設である。平成27年に「会津若松市生涯学習推進ビジョン」を策定し、生涯学習施策の方向性を定め、様々な事業を展開している。具体的な取り組みとして、生涯学習ネットワークを強化し、地元大学や市内高校、さらには民間企業との連携・協働により「あいづまちなかキャンパス」を実施した。 また、人生100年時代を豊かに過ごすために、生涯にわたる学習や能力向上を目的として「生涯学習支援者講座」、「地域学校協働推進員研修会」の開催や、地域での家庭教育を推進するため、新たに「地域で子育て支援研修会」を企画するなど人材育成の講座を開設し地域住民の主体的な学びを支援している。 さらに、市職員による出前講座や地域教育コーディネーター事業では地域に出向き生涯学習の普及・啓発を行うなど市全域をカバーする社会教育機関の中核機能を果たしている。
14	福島県	ふくしままつかわがくしゅうせんたー 福島市松川学習センター	松川学習センターでは、時代の要請や地域の課題を的確に把握しながら、各ライフステージに応じた講座や市民学校を開設している。とりわけ、受講生の豊かな体験と個性の伸長を目的として少年教育事業の「自由アート」はプロのアーティストを講師に迎え、近隣の4つの学習センター合同で企画をしており、充実した内容となっている。異なる学校の児童生徒やボランティア学生との交流は、コミュニケーション能力や互いの良さを認め合う心情の育成にもつながっている。 学習センター運営については、地域から選ばれた9名の運営審議委員からなる運営審議会を年6回開催し、活動内容にPDCAサイクルを機能させるなど、適切な運営に努めており、地域における生涯学習の拠点としての役割を担っている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
15	福島県	こおりやましりつひわだこうみんかん 郡山市立日和田公民館	日和田公民館では、明治時代まで地域で行われていた人形浄瑠璃とこれに使用した「高倉人形」に着目し、これらの「復活」をキーワードに地域住民の連帯意識や、住民の民俗芸能の伝承及び地域に対する愛着・帰属意識の向上をねらいとして事業を展開した。公民館が地域住民及び各種団体へ働きかけを行うことで、人形浄瑠璃復活へ向け地域の様々な団体による実行委員会が組織された。また「あしり座」(札幌市の人形浄瑠璃芝居劇団)の協力によりワークショップを開催したり、学校、各種団体を対象とした発表会や地域行事への参加を継続して実施したりすることで、活動への参加者、支援者の輪が広がり、地域づくり、地域連携に大きな役割を果たしている。
16	茨城県	かしましりつとよさところみんかん 鹿嶋市立豊郷公民館	豊郷公民館は、昭和61年5月に鹿島町立豊郷公民館として開館した。当該施設は、鹿嶋市中央公民館で毎月1回開催される、公民館職員の研修会に参加し、国や県の動向を踏まえ、地域課題やニーズに対して先進的な取組を推進している。 当該施設の企画・運営は自治会、地区子ども会育成会、学校PTA、学校職員、地域活動実践者等で構成する「豊郷地区まちづくり委員会」(公民館運営審議会)が中心となっており、地区住民が積極的に参画している。 特色ある事業の「北浦一周歩く会」は、35回の歴史を重ね、県の名勝地である霞ヶ浦北浦を活用し、子供から高齢者まで多くが参加し、地区住民の交流と絆づくりの場となっている。また、併せて、歩きながらゴミ拾いを行い、地域課題の環境問題への意識啓発をしている。
17	茨城県	ちくせいしりつなかこうみんかん 筑西市立中公民館	中公民館は、昭和61年4月に下館市立中公民館として開館した。当該施設は、市街地から離れた場所にあり、その地区の子供の数が減少傾向にある。また、自治会、青少年育成市民の会、社会福祉協議会、交通安全協会、交通安全母の会、各種学校関係者等49人で構成される公民館運営協力委員会での意見交換の結果を反映し、公民館事業を企画・運営・評価している。 特色ある事業としては、社会教育指導員と登録団体とが連携して推進している花づくりを通じて、十数年にわたり公民館が地区内花壇コンクールを主催して、地区住民の憩いの場づくりに努めている。そうした取組は、本県が主催する「花と緑の環境美化コンクール」において、「県知事賞」を受賞するなど県内において高く評価されている。
18	群馬県	たかさきしみさとこうみんかん 高崎市箕郷公民館	箕郷公民館は、学校や地域の諸団体との連携・協働に積極的に取り組んでおり、特に世代間交流や地域人材の発掘に努め、地域文化の継承と発展や地域コミュニティの活性化を目指して様々な事業を実施している。 箕輪城跡や梅などの地域の特色を生かし、子どもたちの郷土愛を育む事業を展開している。さらに新たな取組として、平成29年度から世代間交流により子どもたちの豊かな心や主体性を育むことを目的に「昔遊び体験」を開始した。子どもたちは、地域の大人たちと一緒に昔遊びをすることでコミュニケーションの取り方や思いやりの気持ち、社会(集団)のルールを学ぶことができ、事業に協力する大人にとっては地域での活躍の場となり、地域活動への参加のきっかけとなっている。
19	群馬県	まえばししふじみこうみんかん 前橋市富士見公民館	地域特性や住民ニーズに応じた社会教育事業の実施により、地域に根づいた「学びの拠点」としての公民館機能を発揮している。 特に、青少年体験・チャレンジ活動として、子どもたちを対象とした、豊かな自然を活かした体験プログラム「ふじみフレンドシップキャンプ」は、学校・地域・社会教育施設・ボランティア団体等との連携により、子ども同士の交流を深めるだけでなく、地域の様々な人との関わりの中で子どもの社会性を育み、「地域の子どもを地域で育てる」実践的な取組となっている。また、子育て親子支援事業においては講座を関連づけ、参加者が系統的・継続的に受講できるようにすることにより学びの深化を図るとともに、地域住民のつながりづくりに生かしている。
20	埼玉県	かわぐちしりつとづかこうみんかん 川口市立戸塚公民館	戸塚公民館のある戸塚地域は、近年駅周辺の開発が進み、地域外から転居してくる子育て世代が増加している。中には地域における人間関係をなかなか構築することができず、子育てに対する不安や孤立感を募らせている状況も見られる。そこで、戸塚公民館では、子育て世代の交流不足と不安解消を地域課題と捉え、子育て支援担当部局やNPO等と連携し、乳幼児を持つ親同士の交流や、相談しやすい体制づくりを重視した家庭教育支援事業を展開している。特に、親子で参加しやすい読み聞かせ・子育て相談事業や、発達障害のある子とその親を対象にした子育て相談・交流会は、子育て世代のニーズに基づき、NPOと連携した事業となっている。
21	埼玉県	さいたましりつかたやなぎこうみんかん さいたま市立片柳公民館	地域の「夏祭り」という伝統文化の再興のために、地域の要望に応え、公民館が地域のコーディネーターとなり、学校や地域団体等幅広く関係機関と連携して、特色豊かな事業を実施した。若者から幅広い年代にわたる参加者を得、「夏祭り」を盛り上げることができた。伝統文化継承活動の一環としてのお囃子体験教室は、片柳伝統文化保存会と片柳中学校との3者の共催事業として開催し、小学生から50代までの幅広い年齢層が集まる事業となる。地域社会のニーズに沿った事業の広がりを見せている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
22	埼玉県	ふかやしやつもとこうみんかん 深谷市八基公民館	旧八基村に昭和26年に開設された公民館である。その後、平成7年に渋沢栄一記念館との複合施設として建設され、地域のコミュニティーの場となっている。主な活動事業は、「青少年健全育成会」の一環として昭和60年から続くフウリン草・さつき展や、芸能祭・納涼祭などの「文化教養事業」、栄一翁の命日である11月11日に栄一翁を偲んで煮ぼうとうを会食する「青淵渋沢栄一翁遺徳顕彰事業」などがある。中でも「フウリン草・さつき展」は、「花を愛する人には、悪人なし」との想いから、八基地区の青少年健全育成会が種子を配布し、各家庭で育てたフウリン草を展示したのが始まりである。
23	千葉県	きみつすなみこうみんかん 君津市周南公民館	昭和48年の開館以来、「みんなの茶の間 学習の広場」を掲げ、「地域のみなさんとともに歩む」公民館として運営されてきた。開館直後から、現在も続く「ふるさと運動」を地域の皆さんとともに取り組んできた。「認知症カフェ『すなみほっとサロン』」では、認知症の講演会参加者が学んだことを活動につなげられるように支援している。現代的かつ地域の大きな課題として認知症に向き合う必要があるとの認識の下、地域有志の方、民生委員、社会福祉施設の方で構成する運営委員会を組織し、企画・運営を行っている。また、平成30年度から小中一貫教育校となった周南小学校、周南中学校と連携協力し、公民館活動を活かした地域ぐるみの教育を展開している。
24	千葉県	いんざいしりつちゅうおうこうみんかん 印西市立中央公民館	昭和54年の開館以来、市民が心身ともに健全で心豊かに、生涯にわたり学び続ける幅広い学習の場と機会を提供することを目標に、事業の展開を図っている。学習ニーズを把握し、団体だけでなく個別にも学習相談等の対応を行った。 「終活講座～あなたの今を問う～」では、誰もが迎える最期の時に備え、葬儀や遺言等の様々な問題について学習し、自分を見つめ直し、今をより良く、生き生きとした生活ができるように支援している。 地域住民の高齢化を視点に生活・情報通信・健康関連の複数事業を実施することで、地域の幅広い需要に対応できるように取り組んだ。
25	千葉県	しろいしがくしゅうとうきょうようしせつ 白井市学習等供用施設	平成2年の開設以来、市役所出張所、児童ルーム、老人憩いの家、図書室の機能をそなえた複合施設である。平成22年度から民間のノウハウを活用したサービスの向上を目的として指定管理制度が導入された。 「子どもの居場所づくり(早朝預かり)」では、学校始業前の時間帯に一時預かりを行っている。子どもの安全と勤労世帯への一助を担うことで生活環境の保全を図っている。預かりを希望する家庭に現状、希望等の意見を聞き、事業を改善しながら、安全第一に考え、安心して利用できるようにしている。
26	神奈川県	ひらつかしりつあさひみなみこうみんかん 平塚市立旭南公民館	旭南地区は、南西には高麗山丘陵、南東には金目川があり、自然環境に恵まれた地区である。一方で近年は宅地化が進んでおり、住宅地、商店が多く形成されている。地区内の人口は約2万人を数え、平成30年度の公民館利用団体数276団体、公民館利用者数78,489人は市内の地区公民館で一番の多さである。 特色ある事業として、平成9年度から小学生向けの「旭郷土かるた大会」を実施している。この「かるた」は地域の方々を中心に作成され、地区の小学生が郷土を知り郷土に愛着を持つきっかけとなっている。 また、美容師を講師に「普段子育てで忙しいママ向けの美容講座」や、ボルダリングジムにて「親子ボルダリング教室」を実施するなど、地域住民のニーズを意識した新しい事業を意欲的に数多く実施している。
27	神奈川県	あつぎしりつなんもうりこうみんかん 厚木市立南毛利公民館	南毛利公民館は、昭和30年2月に南毛利村役場の跡地に設置され、その後、老朽化により、平成8年9月に現地の場所に移転・新築された。地区の中心には恩曾川が流れる自然環境が豊かな環境でありながら、市内でも最大の人口、世帯数、自治会数を抱える公民館区である。そのため、「南毛利は一番」を地区の合言葉として、各団体の役員や地域住民らが一体となってまとまり、体育振興事業、文化振興事業及びコミュニティづくり推進事業、地域子ども教室などを展開するとともに、地域住民のニーズをくみ取りながら、各種学級講座等を開催するなど、多くの方々に生涯学習の活動場所として利用されている。 特色ある事業としては、「子育てサロン みなみちゃん」や「コアラ教室」、高齢者を対象とした「ことぶき大学」、親子を対象にした「もち米づくり体験学習」など、老若男女が参加できることで、地域との交流が深められるような事業を展開している。
28	新潟県	さんじょうしただこうみんかん 三条市下田公民館	広い下田地域において、外出が億劫になり自宅に閉じこもりがちな高齢者が増えている(高齢化率34.2%)ことに関する危機感から、地域の高齢者が孤立することのないよう、「出張型きつかけの一步事業」を実施している。公民館職員が各自治会の所有する集落センターなどに出向き、住民の学習促進や相互交流、生きがいづくり、コミュニティの活性化を図り、過去4年間で64ある地区の集落のうち36の集落が参加している。 また、地域の小中学生と一般参加者を結びつける事業を実施するとともに、職場体験や環境学習等において、学校と地域の連絡調整を行い、地域ぐるみで子どもを育てるシステムを整備している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
29	新潟県	しばたしちゅうおうこうみんかん 新発田市中央公民館	平成28年度から実施している「防災キャンプ」は、平成30年度には新発田市内全小中学校を対象に行った。自然災害がいつでも起きてもおかしくない現状において、防災に関する知識を身に付けるとともに、避難所宿泊体験や応急処置体験など模擬災害体験などを通して、自分の命を守るだけでなく、他人との助け合いや協力する力を育むなど、主体的・対話的で深い学びにつながる事業である。 また、様々な主催・共催事業の中で、NPO法人、各種登録団体と連携し、多様な活動プログラムを計画・実施し、学習環境を整備している。
30	富山県	あさひちょうりつおおえのしょうこうみんかん 朝日町立大家庄公民館	朝日町は高齢者が多く、大家庄公民館の設置地区も例外ではない。そのため、高齢者を対象にした事業を積極的に展開し、生きがい、暮らしがいのある豊かな老後を楽しむために「正月用花の寄せ植え教室」や「災害時の初期対応について」など、様々なシニア知的生活教室を開催している。参加者からは、公民館活動が生活の一部になっているなどと、大きな評価を得ている。 さらに、公民館講座として、子供たちに豊かな心やふるさとの愛着心を育ててもらうため、親子で地元の農作物(サツマイモ)の植付けや収穫などを体験できる事業などを実施し、子供たちの学校外活動に貢献している。 地域住民一人一人の学習意欲の高まりに対応すべく、一般的または専門的な知識に関する各種学習教室の企画や運営に取り組み、住民の自己実現と地域の活性化に積極的に貢献している。
31	富山県	いみずしさんがこみゆにていせんたー 射水市三ヶコミュニティセンター	三ヶコミュニティセンターは、地域の生涯学習、親睦交流の拠点として昭和62年に「三ヶ公民館」として設置され活用されてきた。その後、三ヶ地域振興会を指定管理者とし、名称を「三ヶコミュニティセンター」に変え、現在に至っている。 三ヶ地域には、保育園・高等学校・福祉短期大学が立地し、近くには小学校・中学校が存在する。歴史的に、子供の健全な発育を願う気質が強い地域であり、公民館活動も子供を中心に考えられており、歴史のある活動が多い。保育園児から大学生まで、幅広い年代の子供を対象に、学校や関係機関と連携して、地域ぐるみで活動を展開している。
32	石川県	かなざわしひょうたんまちこうみんかん 金沢市瓢箪町公民館	瓢箪町公民館は、金沢駅や金沢城公園からもほど近い市の中心部に位置しており、近隣には古くからの街並みが残っている。しかし、近年は少子高齢化が進んでおり、地域の担い手不足解消や地域全体の活性化に繋げるため、様々な事業を行っている。 特に、「歴史散歩～世にも奇妙なお寺たち～」と題した事業は、世代間交流と参加者の健康増進を目的に約20年続く事業であるが、参加者の声を反映して平成29年に内容を見直しリニューアルを行った。 このように、既存事業を常に見直し、現代の社会問題に即した新たな試みを通して地域活性化に意欲的に取り組んでおり、他の模範となる公民館である。
33	石川県	かがしりつきんめいこうみんかん 加賀市立金明公民館	金明地区は加賀市の海岸沿いに位置し、8町からなる地区である。地名の由来は、突然変異で発生し明治天皇が名付けた国指定天然記念物「篠原の金明竹」である。近年は少子高齢化が進み地域の子供の数も減っているが、そのような中でも子供から高齢者まで住民同士が交流できる事業を熱心に行っている。 特に「新成人と語る会」は10年以上続く事業であり、地区を挙げて若者の門出を祝うだけでなく、住民と若者の間に新たなつながりが生まれ、その後の地域行事に若者が参加するきっかけとなっている。 このように、公民館が中心となり地域の活性化に取り組む姿勢は、他の模範となるものである。
34	石川県	ななおしのとじまちくこみゆにていせんたー 七尾市能登島地区コミュニティセンター	能登島は、日本海に突き出た能登半島の東側、七尾湾に浮かぶ自然豊かな島であり、世界農業遺産「能登の里山里海」の構成要素の一部である。七尾市では平成30年から市全域で公民館を廃止しコミュニティセンターに移行しており、新たな制度の下で島全体を活気づける様々な事業に取り組んでいる。 特筆すべき事業として「能登島子ども会議」が挙げられるが、これは、島唯一の小学校と連携し、子供たちが地域課題を解決する視点で考えた企画を秋の島内文化祭で実現させるというものである。子供だけでなく住民にとっても、自らの手で地域の問題を解決できる貴重な機会となっており、コミュニティセンターが実施する地域づくり事業として優秀な成果を上げている。
35	福井県	ふくいしきこうこうみんかん 福井市酒生公民館	酒生公民館区は、福井市東部に位置する農山村地域であり、古墳や史跡が数多く存在し、古くから定住する地区民が多い地区である。 近年、全国的に見られるように、酒生公民館区でも、少子・高齢化が進み、地区人口に占める青少年・子育て世代の減少や独居老人の増加に加え、社会や生活の変化により、地区民同士の結びつきが希薄化する傾向にある。 こうした状況を踏まえ、酒生公民館では、地域の生涯学習およびコミュニティ活動の拠点施設として、また、各種団体や地域活動への支援・連絡調整を担う地域のコーディネーターとして、地区の課題解決や人材育成に取り組んでいる。 さらに、以前より高齢者対象の事業にも力を入れており、その事業内容は、従来の「健康・長寿」を目的としたものに留まらず、高齢者の自発的な学びや各人の自立を促すことを重視したものとなっている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
36	福井県	えいへいじちようえいへいじこうみんかん 永平寺町永平寺公民館	永平寺町永平寺公民館は、「みーんな顔見知り」をモットーに永平寺地区3館の中央的な公民館として地域に密着した事業を展開している。 特色ある事業として、平成30年度から実施している「ひまわりの背高のっぼ大会」は、学校や幼稚園、駐在所や地区などの団体や子育て世帯や高齢者などを巻き込み、地域の交流の促進を実現することができた。 他にも児童館や放課後子ども教室などと連携した企画講座や、SNS講座やカメラ講座、民間企業を講師に葬式作法の課題解決講座など、地域に密着した住民のニーズに応えた講座を展開しており、地域住民の社会教育、学習活動に大きく貢献している。
37	山梨県	かいしきしまこうみんかん 甲斐市敷島公民館	甲斐市敷島公民館は、敷島総合文化会館・敷島図書館の複合施設となっており、隣接の敷地には敷島体育館や防災公園も備えた社会教育の拠点である。 敷島公民館まつりなどの地域イベントを成功させ、地域に根付いた公民館として市民に受け入れられている。また、各種講座・教室は、様々なジャンルにおいて人気が高く、社会教育に大きく貢献している。 さらに、祖先が生きてきた過程に思いを馳せ、地域に伝わる歴史や人物等忘れられようとしている先人の生きざまを、演劇やミュージカルなどで表現し、市民が演者となって伝承していくことにも力を入れており、甲斐市の生涯学習事業の推進に大きく貢献している。
38	長野県	しおじりしひろおかこうみんかん 塩尻市広丘公民館	広丘公民館は、塩尻市内で最も人口の多い地域にある地区公民館である。広丘地区は、多くの歌人が生まれ集った「短歌の里」であり、歌人たちが残した短歌の文化は、今なお広丘に根付き、多くの短歌愛好者に親しまれている。その短歌を活かした取り組みとして、公民館事業の参加者に詠んでもらう「感想短歌」、会議の際のアイスブレイクとして詠んでもらう「自己紹介短歌」など、短歌を身近に触れる機会を増やしている。短歌だけでなく、中学校と連携した「エゴマ栽培」、音楽と学びを融合させた「文芸サロン」、プロサッカーチーム松本山雅FCと連携した運動教室等の様々な事業を展開しており、地域の文化を守り、地域住民のつながりづくり・学びの場として、地域にとってなくてはならない公民館である。
39	長野県	まつもとしだいさんちくこうみんかん 松本市第三地区公民館	松本市第三地区公民館は、地域課題となっている高齢者の転倒率の高さを示すデータを提示し住民の自主的な体操意欲の向上を目指した「いきいき100歳体操」を公民館講座で実施した。また、昨年度松本市内で開催された第34回公民館研究集会において、地区周辺にある小・中・高8校や児童センターの児童・生徒たちが地域と連携して活動する「あがたの森未来サミット」の活動を発表した。地区内の特性を生かして小学校・中学校・高校・児童センターの子供たちと一緒に会議・活動を年間を通じて実施しており、公民館がコーディネート役となり地域と学校の協働活動推進の中核的存在として活動している。
40	岐阜県	たじみしわきのしまこうみんかん 多治見市脇之島公民館	少子高齢化が進む地域にある公民館として、高齢者の健康増進や生きがいづくり、子どもの居場所づくりなど地域の課題に向き合った事業を展開している。学校や地域機関と連携した事業を工夫しており、世代間交流事業の一環として、小学校と連携して開催する出前コンサートや、子どもがサポーターとして参加する脳トレ教室などを通して、子どもを核とした世代間の新しいつながりの形成に寄与している。 加えて、公民館の利用が特に少ない男性に特化した多様な講座を実施し、新たな公民館利用者層の開拓にも取り組み、効果を上げている。
41	岐阜県	みずなみしひよしこうみんかん 瑞浪市日吉公民館	まちづくり推進協議会が指定管理者として、子どもからお年寄りまで各世代が気軽に集え、地域から愛される公民館づくりを推進している。各種団体などからなる「公民館運営委員会」や利用者からなる「日吉公民館を考える会」の評価、事業後のアンケート結果を活用しながら、事業の成果や課題を明らかにし、活動の充実を図っている。 豊かな自然に恵まれた環境をいかした「生きがいづくり農業関連講座」では、花や野菜の栽培から収穫・加工の技術を習得する講座など、地域の特色をいかした多様な学習活動が展開されており、好評を博している。
42	岐阜県	えなしかさぎこみゆにていせんたー 恵那市笠置コミュニティセンター	少子高齢化が著しい地域の中にありながら、地域の文化、生涯学習、まちづくりの拠点として、地域の魅力を発信しようと努力を重ねている。三世代交流事業を中心に展開しながら、日本有数のクライミングエリアとして全国から多くのクライマーが訪れる笠置山といった自然資源をいかした、ボルダリング、カヌー、リアルオモシロかかしなどの多彩な子ども向け講座も開催している。 特に力を入れている乳幼児期の家庭教育学級「ゆずっこ」の運営は、住民が地域の財産に誇りをもち、住民同士のきずなを深め、協力し合って地域づくりを進める基盤づくりにつながっている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
43	静岡県	ふじのみやしりつゆのこうみんかん 富士宮市立柚野公民館	柚野公民館は、富士宮市の西側に位置し、平成22年に富士宮市と旧芝川町の合併に伴い開設された。柚野地区の特色、人材を活かした講座や事業を実施しており、講座講師の7割以上は地域の方が担っている。最近では市内全域からの参加者も増えている。 周辺にある柚野小学校・中学校の地域学校協働活動推進員と連携を取りながら児童生徒を対象とした事業を進めるとともに、住民の地域活動が活発な地域だという強みを生かし、自治会、地域団体、企業、学校等が連携・協力して「おいしい富士山プロジェクト おむすびで富士山を作ろう」「公民館まつり」などを実施している。日常的に関わりの少ない住民同士が目標に向かって活動する機会を提供し、地域の一体感、絆づくりにつなげている。
44	静岡県	しまだしりつはつくらこうみんかん 島田市立初倉公民館	初倉公民館は、初倉地域の様々な課題を解決する重要拠点として位置づけられており、児童センター、行政サービスセンター、地域包括センター、高齢者サロンを併せ持つ複合多機能施設として整備されている。小学校が隣接しており、子供からお年寄りまで幅広い世代の住民が利用している点が特色である。 こうした点を生かし、地域住民と子供たちが触れ合いながら地域の魅力を発見していく「はつくら里の楽校」を実施している。また、地域の人や中高生ボランティアが小学生の学習を支援する「はつくら寺子屋」を関係学校と連携して実施し、学びの好循環が生まれ、高い評価を受けている。
45	静岡県	はままつしなんようきょうどうせんたー 浜松市南陽協働センター	浜松市南陽協働センターは、平成25年4月より施設名称を公民館から協働センターへ変更し、地域コミュニティの拠点としての機能を新たに付加し、住民とともに新たな地域づくりに取り組んでいる。 地域住民と連携した事業の代表的な事例としては、NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」の放映決定を契機に、地域力向上事業として「松下屋敷跡啓発事業」(28～30年度)を実施した。この事業は、地元の郷土史学習団体が主体となり、松下屋敷跡について学習する講座を開催するとともに、啓発活動を行い、地元の歴史的な事物を核とした地域コミュニティの活性化の一助となっている。 さらに、平成29年度から、地域の課題解決の一環として、地元住民や小学生と協働して、地域内小学校付近の耕作放棄地の一部を整備して通学路に花の苗を植える環境整備活動を実施するなど、地元住民と連携した地域づくりや生涯学習の推進をしている。
46	愛知県	おおぶしりつきたやまこうみんかん 大府市立北山公民館	大府市立北山公民館は、大府市、自治区・コミュニティなどの地域団体、地区に所在する至学館大学及び同短期大学部、民間企業、地域住民がお互いの立場を尊重しながら協力・連携して、公民館事業を実施している。また、生涯学習だけでなく、地域活動の拠点としての機能を発揮し、地域住民の交流を促す事業を数多く実施することにより、地域力の向上や地域住民の繋がりが作り寄与している。特に、北山コミュニティ推進協議会と協力して実施している「エコキッズ」を始めとする環境保全事業に、10年前から重点的に取り組んでおり、現在、小・中学校を巻き込んだ活動として広がりを見せ、地域住民の環境意識醸成においてその一翼を担っている。
47	愛知県	とよはししほんごうちくしみんかん 豊橋市本郷地区市民館	地域にねぎし、広く校区住民、市民に親しまれる公民館として「出会い・ふれあい・学びあい」をテーマに旺盛に活動を展開している。毎年、新たな自主事業を行い、講座終了後にはその多くが「自主グループ」に発展し、継続的な活動が行われている。現在、54のグループが実技・趣味の力量向上をめざして活動し、「市民館まつり」や「月一展示会」などで参観者の好評を得ている。特に「音楽まつり」は、地域の音楽団体の協力を得て毎年盛大に行われ、多くの参観者を楽しませている。また、地域の小学校の「ESD活動」や「放課後子ども教室」など、地域児童への支援活動も積極的に取り組んでいる。これらイベントの活性化は、平成28年度30,000人であった利用者を、30年度には37,000人以上に引き上げた。地域の代表31名で構成される市民館運営委員会の協力体制も万全である。
48	京都府	ふくちやましりつにしんちいきこうみんかん 福知山市立日新地域公民館	福知山市立日新地域公民館は、従来からの農村定住型地区に加え、内陸型工業団地の造成に伴って大規模公営住宅、新興住宅街等が開発されており、地域内に様相の異なる住環境を有し、地域住民の交流が難しい面がある。そのため地域住民が誰でも参加しやすいよう、イベント等を工夫して、交流を深めるとともに、公民館活動に対する認識を高めてもらうことを心掛け、生涯学習活動に対する関心の醸成や、コミュニティ形成の一助としている。また、近隣の小、中、高等学校の連携や行政機関、工業団地企業なども連携した事業を行うなど、各関係機関や地元団体との連携も密に行っている。
49	京都府	きょうたなべしりつちゅうおうこうみんかん 京田辺市立中央公民館	京田辺市立中央公民館は文化祭を地元大学の文化祭と同時開催し、本中央公民館・田辺中央体育館・市役所を会場に市内の各種団体や自治会などを中心に80近い団体による舞台発表・展示発表・模擬店・体験コーナーなどを開催している。全市的規模で各種文化活動が行われ、多くの市民に優れた文化に接する機会を提供している。市民の文化活動への積極的な参加と文化の相互交流を促進し、京田辺市の特色を生かした文化の振興、新たな文化の創造、市民の豊かな生活の実現に資するために公民館活動を行っている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
50	京都府	ながおかきょうしちゅうおうしょうがいがくしゅうせんたー 長岡京市中央生涯学習センター	地域の生涯学習の拠点として、高齢者向けの学習機会を設けたり、乳幼児や保護者を対象とした育児支援講座を開催したりして、多くの市民が参加できる活動を進めている。特に、誰でも生涯学習に取り組めるきっかけづくりとして「バンビオはじめの一步体験」を実施するなど生涯学習にふれる機会の充実に努めている。また、広報誌「be→!」を年4回発行し、活動の魅力を広く市民に広報している。 さらに参加者数の増加を目指し、協議を重ね、多彩なイベント事業の工夫に努めている。
51	兵庫県	かさいしぜんぼうこうみんかん 加西市善防公民館	善防公民館は加西市の南西部地域を担当している。公民館内に子育てひろばが併設されており、子どもから大人まで幅広い世代の利用があることから、「学び」「健康」など各世代に対応した講座を多く開催している。 年々、少子化、核家族化が進む中、孫世代への伝統文化の継承と三世代の交流を目的に、地域住民で組織された実行委員会と賛同団体と共に「なつかしの正月遊び」を開催しており、失われつつある日本の伝統文化、家族・地域の絆の大切さを再認識するイベントとなっている。 このように、公民館が地域と連携し地域課題の解決に向け大きく寄与している。
52	兵庫県	いたみりつほくぶがくしゅうせんたー 伊丹市立北部学習センター	「伊丹市立北部学習センター」(愛称:きららホール)は、公民館的機能・図書館機能、親子や児童・生徒が集える児童館的機能を併せ持つ複合型の生涯学習施設である。 センターでは「出会いの花咲く学びの場」をテーマに運営され、地域のニーズを生かした講座を年間約1,400回開催するとともに「きらら親子運動会」「頑張るママへご褒美フェスタ」「百人一首大会」「いきいきシルバーの集い」など幅広い年齢層に向けたイベントを開催している。なかでも、地元の中高校生や地域のボランティアと協力して行う「きらら夏祭り」は、親子が1日楽しむ地域行事として好評を博している。 日頃から多くの利用者で賑わい、年間利用者数が約44万人にのぼる同センターは、市北部において学校・家庭・地域が交流する「人づくり、つながりづくり、地域づくり」の重要な拠点となっており、本市の生涯学習の推進に多大な貢献を果たしている。
53	奈良県	ならしりつあすかこうみんかん 奈良市立飛鳥公民館	飛鳥公民館は旧市街地に位置し、春日大社をはじめとする歴史的文化遺産と奈良公園などの自然環境に恵まれた地域である。当該地域は、歴史ある地域に長年生活してきた旧住民とマンションや新興住宅地に移り住んできた新住民の関わりが希薄であることが課題であった。そこで、平成30年度に県公民館連絡協議会の助成金を活用し、新旧住民の交流を目的にプロジェクトメンバーと共に「歩こう!飛鳥の地蔵盆2018」を実施し、地域の課題解決に取り組んだ。地域の伝統行事の一つである「地蔵盆」への新住民の参加は、地蔵盆を世話している旧住民との交流、世代間交流の場となり、さらには、地域の魅力を再発見する機会となり、地域への愛着や誇りを高めるきっかけになった。 また、この事業をきっかけに、新住民に多い子育て世代向けの新たな事業や地域資源を活用した講座の企画などを行い、地域の活性化を図るとともに、地域ニーズに即した事業を展開している。
54	鳥取県	くらよしうわなだこうみんかん 倉吉市上灘公民館	少子高齢化等による公民館行事への参加者の減少や地域コミュニティの劣化という地域課題としっかり向き合い、地域の再発見、地域への愛着と誇りを持った青少年の育成及び次世代リーダーの育成という明確な目標を持った取組が実践されている。 地域づくり講座「うわなだ未来塾」は、小学校の土曜授業とタイアップすることで多くの小学生が参加することを可能にしている。地域探検では、多くの地域ボランティアの協力のもと、クイズを取り入れるなど、子どもたちの意欲を引き出しながら理解度も満足度も高くなる工夫により、子どもたちが主体的に意欲をもって活動するふるさと教育となっており、中学生が実際に地域行事「桜まつり」を企画したことは、未来の地域のリーダー育成にもつながっている。さらには、事業に関わった大人の中から次世代リーダーとなる人材が育っていくという効果もあり、学校を核とした地域づくりの実現が図られている。
55	鳥取県	とっとりしりつおもかげちくこうみんかん 鳥取市立面影地区公民館	2002年の学校週五日制完全実施に伴い、子どもの休日の過ごし方の充実を目指した事業「いきいきおもかげっこ広場」が、20年近く継続され地域に定着している。 年間を通じた様々な活動を通して、地域の子どもと大人の交流を進め、公民館が地域での子どもたちの居場所としての役割を果たしている。また、各種団体と連携することにより、子どもたちが季節毎に様々な年代の地域住民と関わりながら多くの体験をすることができるよう企画・運営がなされており、公民館が核となり地域を愛する心を育てることができている。事業への参加者も年々増加しており、マンネリ化に陥ることなく長期に渡って工夫改善しながら事業に取り組んでいる。 昨年の事業「おもかげ山ウォーキング」では、中学生が積極的に参加者のサポートに関わるなど、次世代地域のリーダーが育成されており、今後の事業の充実・発展が見込まれる。
56	鳥根県	はまだしりつくもぎこうみんかん 浜田市立雲城公民館	絶滅危惧種であるハッチョウトンボを学習テーマとして、子どもから大人まで幅広い世代において学びの場を設定している。持続可能な生育環境の維持を地域課題として設定することで、よりよい環境保全活動を進めるために地域住民が具体的な取組を考え、活動を展開している。保育園、小中学校、高校、大学などの多くの児童生徒や学生及び地域住民の交流等、地域内でのつながりづくりも積極的に進められ、地域コミュニティの活性化が図られている。また、学びの成果や活動の様子を県内外に積極的に情報発信することで、交流人口の増加や観光資源化につなげている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
57	島根県	まつえしみほのせきこうみんかん 松江市美保関公民館	地域の歴史学習では「美保関歴史アラカルト」と題して、小学校と連携し地域住民が児童と一緒に学習を行っている。遺跡・文化財等の地域散策を行い、専門家による学習をとおして、地域のよさを再確認する機会となっている。また、ジオパーク学習「海からながめる美保関」では、小中学生や地域住民が、船上から見る海岸線や景色を見る体験から、地域の景観保護や資源活用について考えるなど、郷土に対する愛着を深める学習の工夫を行っている。今後は、学習を生かして海岸清掃等の活動につなげていく。
58	岡山県	みまさかしおおはらこうみんかん 美作市大原公民館	少子高齢化の影響が顕著な大原地域において、地域の拠点となることを目的に平成28年度から専任館長を配置した。住民参加型のイベントや文化活動の推進・支援、生涯学習機会の創出に努め、課題であった「住民の主体的参加」や「利用者の固定化」が徐々に改善しつつある。公民館講座では、子育て世代にダンス教室が好評であり、受講後も公民館での自主活動や地域イベントへの出演へと広がっている。また、野外音楽祭『星空ミュージックカフェ』は、平成30年度で4回目の開催となり、公民館が住民参加型イベントとして開催支援を継続して行うことで、地域住民のリーダー育成、協働のまちづくりへと展開している。昨年度からは、地域を流れる川の生態観察等を大学の研究ゼミと合同で行っている。身近な地域課題についての学習は子どもから大人まで幅広い世代での関心が高く、新たな公民館の利用者獲得に繋がっている。
59	広島県	ふちゅうしこくふこうみんかん 府中市国府公民館	国府公民館は、1961年に公民館として開設され、建物の老朽化に伴い2020年2月に新築する予定である。館長と職員1名の体制で人口減少に伴う地域課題に対応する事業を実施する上で人と人をつなげるコーディネートの役割を公民館が担い、住民が毎日足を運びたい地域との拠点としての運営を目指している。 「国府演JOY祭」(こくふえんじょいまつり)は、平成29年度から公民館と他団体とがつながり、子供から高齢者までが安心して集える場を目指した事業。内容は、「国府公民館まつり」とコミュニティスクールを導入した国府小学校の「音楽発表会」「読書まつり」を合体させ、企画・運営を子どもたちと地域の人とが協働で行う公民館、学校、地域住民が一体となって地域を盛り上げている取組である。
60	広島県	ひろしましふないりこうみんかん 広島市舟入公民館	舟入公民館は、3小学校区を対象エリアとして昭和60年に設置された。原爆ドームに近く、エリア内には被爆建物が残るとともにマンションも立ち並んでいる。子育て世代の孤立を防ぐための家庭教育支援の取組、地域の歴史と先人の思いを次世代へ継承し地域への愛着を深めていく取組など公民館としての役割を担う事業を展開している。 地域を知る講座は、新しく住む人が地域の歴史を知ることにより、地元へ愛着を持っていたくことを目指している。住民の学びのきっかけ作りを促進するために、各種団体と連携し、講話や展示・フィールドワークなどの事業展開において様々な手法を掛け合わせて実施し、地元の魅力を広く伝えていこうという気運を高めている。
61	山口県	さんようおのだしてあいこうみんかん 山陽小野田市出合公民館	利用者に「公民館運営」、「地域づくり」、「学習の拠点」、「施設の利用」の4つの観点でアンケート調査をし、その結果を分析・考察して活動内容の改善をする等、公民館評価を行い、地域課題や住民のニーズを常に意識した公民館運営に努めている。とりわけ、講座内容については、たえず最新情報や今日の課題に目を向けながら講座内容を刷新する等、積極的に公民館活動の活性化を図っている。 公民館講座での学びを、小学校での学習支援等で効果的に生かすことにより、受講生の自己有用感を高めている。また、夏休みには児童が公民館講座に参加し、相互に連携することを通して公民館が地域学校協働活動を推進する中心的な役割を果たしている。 特色ある取組として、子育て教室の開催がある。乳幼児をもつ親の悩みや不安に寄り添う等、相談に応じるとともに、親同士のゆるやかなつながりづくりに取り組んでいる。
62	山口県	ほうふしかつまこうみんかん 防府市勝間公民館	SNSを活用し、案内の配布や講座等での学び、公民館運営審議会での協議内容等について積極的に情報発信を行っている。 公民館講座やサークルで作成した作品を小・中学校のコミュニティルーム等に展示し、学校の子どもたち、保護者、地域の人にも鑑賞する場を提供している。作品を鑑賞した小学生から受講生への一言感想のプレゼントは、受講生の大きな喜びにつながっており、こうした活動が相互の連携を深めている。 家庭教育学級では、必要に応じて託児サービスを行っている。また、高齢者教室、女性学級の参加募集にあたっては、地区ごとに運営委員が参加呼びかけを行い、場合によっては女性学級に男性の参加も可とするなど弾力的な運用に努め、参加者の増大や利用促進に向けて多様な工夫を凝らしている。
63	徳島県	あなんしりつみのばやしこうみんかん 阿南市立見能林公民館	見能林公民館は、昭和22年7月、旧見能林村役場内に創設され、現在は、阿南市立見能林公民館として存立している。当該公民館は、年間延べ2万5千人余りの利用があり、地域における生涯学習の拠点として、住民、保育所から中学校、各種団体と協力しながら、世代間交流を行い、地域の活性化に取り組んでいる。 事業内容としては、趣味・習い事などの各教室の開催の他に、地域団体との連携によるスポーツイベントの開催、自主的なサークルの育成などに取り組んでいる。中でも、毎月(5月から12月までの間)2回実施している「子育てふれあい広場」は、地域の未就園児のふれあいや親同士の交流の場を提供しており、特色のある事業となっている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
64	愛媛県	まつやましばんちようこうみんかん 松山市番町公民館	子育てサロンや高齢者教室、女性学級など、対象者に応じた幅広い学習講座を開催し、対象ごとに地域課題解決に向けた活動や住民同士のつながりづくりに取り組んでいる。また、若者の公民館活動参加を促進するため、若者が中心となってハロウィンイベントを企画立案し、ハロウィンワークショップや仮装行列、お化け屋敷、フェイスペイント等を実施し、幅広い参加者が活動を楽しむことで、地域活性化に貢献している。 毎年「番町サマーカーニバル」を開催し、多くの地域住民が集い、互いに交流を深めたり、地域に活気を生み出したりする活動として定着しているほか、歴史的文化財である松山城をめぐりながら俳句作りを行う「番町松山俳句サーキット」等の多様な活動に取り組んでいる。
65	愛媛県	うわじまじりつたかみつこうみんかん 宇和島市立高光公民館	近い将来起こる可能性が高い東南海地震に備え、災害に強い地域づくりのため、人の絆づくりを第一に考え、自主防災訓練では、各家庭から避難場所への避難訓練及び炊き出し、放水訓練、応急手当訓練など、いざという時に備えた活動を展開している。また、重点目標を四つ掲げ、計画と評価を一体化させたPDCAサイクルの機能化に取り組んでいる。 地域住民が気軽に入浴できる公民館づくりを推進するとともに、世代間交流活動など地域連帯意識形成に資する活動を積極的に行っているほか、高齢化が進む地域の特性を捉え、年3回、一人暮らしの高齢者訪問事業を行うとともに、クロッケー大会や敬老祝賀会、いきいきサロンなど、高齢者の生きがいづくり、つながりづくりの拠点機能を果たしている。
66	愛媛県	いまばりしたちばなかるちゃーせんたー 今治市立花カルチャーセンター	人に親切で穏やかな町づくりを推進する拠点として、カルチャースクールやシルバースクール、婦人スクールなどの各種講座を年10～11回実施。様々な世代や職業等の地域住民が集い、学ぶ場としての役割を果たしている。また、家庭教育懇談会に加えて、「ママの喋り場」を年24回開設し、家庭教育の向上に資する学級・講座としており、家庭教育学習支援の拠点として、子育て中の保護者の学びとつながりづくりの役割を果たしている。 生涯学習、コミュニティ活動、安全・安心の町づくりの拠点施設として自主活動を展開し、自治会や校区コミュニティ推進会、小学校PTA等との連携・協働しながら、交流事業や伝承文化継承活動に取り組んでいる。
67	佐賀県	さがしりつしんえいこうみんかん 佐賀市立新栄公民館	新栄公民館は、「子どもの育みを通してつながった地域協働の輪」を掲げて、子どもと地域との交流を深めたり、郷土愛を育んだりすることによりさらに地域の輪を広げている。また、子どもたちの出番を増やすことで、世代間交流や地域の連帯力へと広げている。 地域の田んぼを介したどろんこ祭りや餅つきなど楽しいこともあるが、辛い作業(米作りには八十八の手間)も多く、一連の農業訓練を体験することで、子どもたちの情操教育や自己肯定感、さらには食育への関心を養っている。
68	佐賀県	さがしりつわかすこうみんかん 佐賀市立若楠公民館	若楠公民館は、「子どもを真ん中にした地域づくり」を掲げて、子どもの安全な居場所づくり等に長年にわたって(旧新興住宅のころから)継続的に取り組んでいる。また、様々な体験をすることで子どもたちの興味関心も広がっている。 夏休みチャレンジ教室・地域子ども教室等と連動して、午後から引き続きオープン公民館を実施することで、子どもの安全な居場所づくりができている。また、地域の中学生(美術作品作り)、高校生(ロボット教室)、大学生(夏休みの課題学習等への支援)も講師として参加することで、異世代交流の場となっている。
69	長崎県	しまばらしりつあんなかこうみんかん 島原市立安中公民館	雲仙普賢岳噴火により43名の尊い命を失った安中地区では、住民の固い絆と協力態勢により着実に復興を遂げ、安中公民館が地域コミュニティの拠点として、子どもから高齢者まで様々な世代に利用されている。公民館事業の鬼火焚きでは老人会から木の組み方を子どもたちに指導してもらったり、地域住民が参加する防災訓練では婦人会から豚汁等の炊き出しをしていただいたりするなど、自らの活動の一環として公民館事業に関わっていただいている。公民館祭りでは、学校やPTAと連携し、出演者・運営者の両側面から協力を得ている。このような地域連携を基盤として、特に青少年の健全育成や地域防災に力を入れている。中でも昔遊びの伝承事業である「安中あそびば広場」では、安中を子どもたちが輝く場所にしたいという地域の思いを関係団体と共有し、中高生を企画・運営者として参画させた多世代交流により活動が展開されている。
70	長崎県	ながさきしちゅうおうこうみんかん 長崎市中央公民館	中央公民館は長崎の中央部に立地し、交通の便がよく地域の住民のみならず多くの市民が利用しやすい環境にある。また、市民会館内に設置されていることから、文化ホールや競技場などの施設を併設しており、それらを強みとして活用した独自の事業を展開している。 平成28年度から指定管理者制度へ移行しているが、民間事業者の創意工夫と活力で「長崎が好き！誇り！」といえる人づくりを目指し、住んでいるまちへの思いを育てる拠点づくりを目指した取組は、公民館運営審議会などから成功事例として評価されている。なかでも今まで公民館を利用しなかった若年層などの市民を公民館に呼び込む仕掛け、事業の工夫と展開、情報発信力、適時を捉えた事業の実施などは高く評価でき、直営の公民館においても参考とすべき点が多く、これからの新しい公民館の在り方を示すものである。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
71	大分県	おおいたしおおいたちゅうおうこうみんかん 大分市大分中央公民館	大分中央公民館は、官公庁、商店街、住宅地、高層マンション等が立ち並ぶ大分市中心部に位置している。住民の要望もあり、平成23年4月に複合施設であるコンパルホールの4階部分に設置された。地域住民との協働によるまちづくり、人権を尊重したまちづくり、生涯学習推進のための環境づくり等を重点目標として、地域住民に開かれ信頼される公民館として様々な事業を積極的に展開している。 特に、若い子育て世代が多いことから、子育て支援事業の充実のために、「託児ボランティア養成講座」、「子育て支援ネットワーク会議」、「子育ての集い」、「子育てサロン」などを実施し、地域住民と子育て世代との交流を図っている。
72	鹿児島県	かごしましこおりやまこうみんかん 鹿児島市郡山公民館	郡山公民館は、年間約35,000人の利用があり、年々増加傾向にあるなど地域と密接に連携した取組により成果をあげている。 なかでも、高齢者を対象とした通年講座「八重大学」は41年の歴史を誇り、校区代表者等と運営委員会を組織し、地域関係者の主体的参画による運営がなされ、受講者の健康や生きがいにつながっている。 また、地域住民が約17kmを蟻の行列に見立てて歩く「蟻の花尾詣で」は、今年で15回を迎え、ふるさとの歴史を体感する文化行事として地域振興に寄与している。 このように、地域住民のニーズや地域の特色を生かした多様な学習が展開され、郡山公民館は地域住民の生涯学習の拠点として、人づくり、地域づくりに大きく貢献している。
73	鹿児島県	いぶすきしりついまいずみこうこうみんかん 指宿市立今和泉校区公民館	今和泉校区公民館は条例公民館として、自治公民館や学校、各団体等と連携をとり、個人や社会的ニーズに合った講座を企画立案するなど生涯学習の拠点として多くの市民に活用されている。 校区文化祭は、地域住民が文化や芸術を発表する場、並びに幼児から高齢者が一堂に会し交流する場として地域活性化に大きな成果を得ており、中学生が当日の運営等に積極的に参加している。また、校区の青少年育成会議においては、自治会や中学校と連携し「多世代による地域づくり」の視点から、各世代を巻き込んだ課題解決型の会議を実践している。また、話し合った内容を校区事業として実行している。 このように、生涯学習の振興や青少年の健全育成、地域づくりに校区公民館が主体となって取り組んでいる。
74	鹿児島県	ひおきしつちばしちくこうみんかん 日置市土橋地区公民館	土橋地区は薩摩街道で鹿児島市に隣接しており、自然豊かな土地である。本地区も全国規模と同様に人口減少が続いている。そこで日置市と共生協働の精神でソフト・ハード面の事業を通して住民全員の好きな地区づくりに取り組み、それを外部にPR、定住・移住者を増やす試みを行っている。 具体的には蛍の生息環境の拡大、竹林整備、薩摩街道の紫陽花の植栽、桜のライトアップ等県共生協働センターとも連携を図りながら、幅広い活動を行っている。また、生涯学習・児童クラブ・放課後子ども教室等の事業や活動を通して、地域コミュニティの構築にも励んでいる。 このように、過疎化等が進むなか、公民館を核とした様々な活動は、地域の活性化に向け大きく貢献している。
75	沖縄県	なはしはんたがわこうみんかん 那覇市繁多川公民館	繁多川公民館はNPO法人が運営を行っている。那覇市の「指定管理業務に係る実施調査結果について」では、高い評価を受けており、職員の意識も高く、地域内外から信頼を得ている。また、戦後途絶えていた在来品種の大豆を復活させ、それをういた伝統豆腐作りを通じた世代間交流プロジェクトが認められ、2018年に農林水産省より消費・安全局賞を受賞している。 2015年よりエジプトに公民館を作る活動を現地の人と連携して進めている。活動の一環として行っているオンライン講座は、沖縄とエジプトをICTを用いて中継し、様々なテーマの講座を定期的実施している。講座には中高生のボランティアスタッフも参加し、異国の歴史文化やそこに住む人々の考え、想いに触れることで、学習の動機付けともなっている。2019年度文部科学省「日本型教育の海外展開推進事業(EDU-Portニッポン)」公認プロジェクトに採択され、活動している。